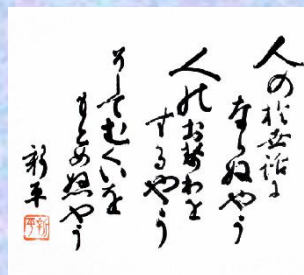




後藤新平記念館通信

奥州市立後藤新平記念館

R7 年 9 月号



【自治三訣】

【令和 7 年度第 2 回企画展】

年男・後藤新平～奇しき巡り合わせ 巳年で飛躍～

今年度第 2 回の企画展が 9 月 19 日（金）から 12 月 7 日（日）まで開催されます。今回の企画は、安政 4（1857）年巳年に生まれ、昭和 4（1929）年同じく巳年に亡くなるまでの後藤新平の 72 年の生涯を、巳年に起こった奇しき巡り合わせに焦点をあてた関連資料を紹介し辿って行くものです。

また、併催「シリーズ後藤新平人脈考」では新平と関わりのある巳年生まれ、石黒忠恵（陸軍軍医、日本赤十字社社長）、伊東巳代治（後藤新平伯伝記編纂会顧問）、菊池忠三郎（新平通相、内相時代の秘書官）を紹介します。ご来館いただき、奇しき巡り合わせの妙を感じていただきたいと思います。

解説会を 10 月 4 日（土）13:30 より開催します。ぜひご来館下さい。



【主な展示資料】

- ◇ 安場保和「洋行中の辞表稿」・・・新平の恩師で後に岳父になる安場が、随行していた「岩倉使節団」から別れて帰国し役職を辞する際に書かれたと思われる辞表の下書き。安場による直筆文書。
- ◇ 「連合公立医学校設立之儀二付建白」・・・人材不足等解決のための建白書。※詳細下記参照。
- ◇ 後藤新平「勾引状」及び「勾留状」・・・新平が相馬事件に連座し収監された際の文書。
- ◇ 葬儀関係新聞切抜・・・新平逝去を報じた新聞の切り抜き帳。



【学芸調査員の企画展展示資料紹介】

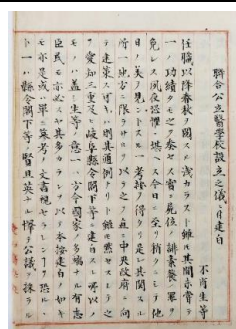
「連合公立医学校設立之議二付建白」【明治 14(1881)年 1 月】

右の資料は、愛知県病院長医学校長心得（補佐又は代理の意）だった後藤新平が、地方税経営による財政圧迫や人材不足、経費の問題、設備不足等を解決するため、愛知・岐阜・三重の 3 県の連合を企画し愛知県令・国貞廉平に呈した建白書です。

新平は、3 県を遊説し、県会議員に宛てても別に書面をしたためて提出するなど大いに奮闘しましたが、当時、この構想は受け容れられませんでした。

しかし、7 年後の明治 21(1888)年、文部省は、千葉・仙台・岡山・長崎・金沢の 5 校を高等中学校医学部とし、京都・大阪・愛知の医学校を特許医学校として存続することを決定すると同時に、その他は地方税をもって医学校を設立することを禁じました。（菖）

【参考文献】鶴見祐輔『〈決定版〉正伝後藤新平』第 1 巻 藤原書店発行



職場体験学習

9 月 3 日、4 日の 2 日間、水沢中学校 2 年生の生徒 2 名が当館において職場体験学習を行いました。展示資料を説明するキャプション作りを実際に行うなど、2 人とも熱心に記念館業務に取り組みました。



【お知らせ】藤井茂氏講演会 演題「後藤新平と新渡戸稲造―後半生を導いてくれた恩人―」

後藤新平顕彰会主催の講演会が、新渡戸基金理事長・藤井茂氏を講師に迎え下記の通り開催されます。

日時：10 月 18 日（土）14 時～16 時 会場：後藤新平記念館 2 階展示室 参加料：無料※入館料別途

定員：30 名 電話または F A X で当館 0197-25-7870 に 10 月 10 日（金）まで申込。